

平成26年度第1回胎内市行政改革推進委員会議事要約

- 開催日時：平成26年11月27日（木） 午後1時30分～午後3時50分
- 開催場所：胎内市役所 501会議室
- 出席委員：天木正史 井上英輔 小野正敏 齋藤熊蔵 鈴木俊一 富澤佳恵
布川拓男
- 欠席委員：奥村町子（敬称略）

1 胎内市行政改革推進委員会の議事要約について

- ・昨年は開催1回であったため議事録署名（鈴木副会長、天木委員）済。
- ・今回の議事録署名委員は、次回の委員会で選定する。

2 第2次行政改革大綱実施計画の中間報告について

- ・中間報告(修正案)の内容について説明。
- ・委員から再度意見をいただき、中間報告を取りまとめたい。

委員 提出する意見書についての方法は。メールでも可能か。

事務局 提出方法は問わない

委員 実施計画進捗管理表にある「ホームページのリニューアル」にある市民モニターや市民ワークショップについては実施しているか

事務局 市民モニターや市民ワークショップは実施していないと聞いている

委員 今日はどういった内容を行うのか。この中間報告の説明なのか。

事務局 この中間報告の素案を委員会に示し、後日意見書を頂きたい。

委員 今回はこの中間報告について議論をしないのか。

事務局 一度持ち帰って頂き、意見を取りまとめてから議論したい。

委員 我々の意見は誰が取りまとめるのか。

事務局 事務局で取りまとめたい。

委員 気になることについては誰に聞けば良いのか。

事務局 事務局を通じて担当に確認する。

事務局 この中で意見を取りまとめるのは難しいと思われるので、一度クッションを置い

て、意見を貰って、それを集約して中間報告を取りまとめたい。

委員 委員会はあと1日ぐらい行うべきでは。

事務局 取りまとめの議論で、もう1回開催が必要となっても、事務局としては問題ない。

委員 内容について細かく書いているため、分かりにくい。意見を書けと言われてもすべての説明が無いので分からない。

事務局 進行管理表の見かたを担当から説明する。

委員 要望だが、郵送されてきた資料も膨大で、今回の会議資料も多い。どれがどういった資料と内容なのか分からない。一つ一つ説明して欲しい。

事務局 わかりました。

事務局 <会議資料の説明> 本来全ての項目を説明すべきだが、時間もかかるため、要点のみ説明させてもらう。

委員 15日までに質問があったら事務局まで問い合わせれば良いのか。

事務局 問い合わせさせていただきたい。共通認識が必要なものは皆さんに配布したい。

委員 公表するのは中間報告だけか、全て公表するのか。

事務局 全て公表する予定。

委員 進捗管理表についての変更はありえるか。

事務局 事実に基づいて作成しているので変更はない。中間報告の「今後の取組について」が、今後の取組の方針となるので主な意見の場となる。

委員 進捗管理表に書くべき内容があれば、指摘する必要があるのでは。

事務局 その方が分かりやすい、加えた方が良いものがあれば書き足す。

事務局 <進行管理表の見かたの説明>

委員 ホームページのアクセス数は平成24、25年度は20,000件となっているが。

事務局 リニューアルの反映が平成26年4月からになるので入らない。

委員 このように、現況の数字などの質問が多くなると評価が出来ないのではないか。

委員 目的に対する指標は一致しているか。どう効果があったのか指標は

事務局 まだ26年度の数字が入っていない。

委員 では、意見は25年度ベースで考えなくてはいけないということか。

事務局 そのとおり。

事務局 全て終わった段階で進捗状況を議論できれば良いが。

委員 25年度までの実績であるが、26年度の状況は入れることができるのでは。

委員 例えばホームページのアクセス数であれば、月別なのだから出せるのでは。

事務局 中間報告は25年度実績なので、26年度は参考程度、25年度で区切らせてもらう。

委員 数字として出せるものがあれば、使えるものは出してほしい。

事務局 ホームページであれば26年度にリニューアルして実績は上がるのだが、あくまでも中間報告は25年度末の時点での実績で作成することを了承願いたい。

委員 昨年も同じ議論したが、年度で切らなければならないようだ。

委員 取組に入った、という内容で評価して良いか。

事務局 そのとおり。量がかなりあって手間がかかると思う。

事務局 質問・意見については事務局が取りまとめ、委員間で共有を図りたい。

委員 意見書を書くためには内容の説明が必要である。

事務局 説明不足で申し訳ないが、必要に応じ適宜説明したい。

委員 26年度の内容も記載されているが、この内容については検討するのか。

事務局 今回は25年度までの実績で取りまとめる。

事務局 今後の意見については「今後の取組について」に意見をいただければと考えている。

委員 実施項目で担当が「全課」となっているものは、全課分の進捗管理表があるのか。

事務局 「全課」となっているものは、行革協働係が他課に現況調査を行って掲載している。

委員 例えば第三セクターはどうなっているか。

事務局 担当課があるものについては、担当課ごとに進捗管理表を提出してもらっている。第三セクターであれば商工観光課、農林水産課、地域整備課。地域整備課担当の荒川マリナーについては解散のため記載していない。

委員 行政評価も同じだが、今後も各課から提出される事業や実施内容について、簡単に1行だけ記載の課と細かく記載のある課とバラつきがある。細かく書いてあった方が分かりやすく評価もできるため、各課に指導できないか。

事務局 今後も十分対応する。

3 外部評価委員会の意見について

- ・「平成26年度行政評価委員会 主な意見」を説明。

委員 今年度から外部評価委員に総務課長や財政課長は含めないのか。

事務局 昨年度まではその前年度までの経緯で参加していた。

事務局 担当課と所管課で対応したい。

委員 外部評価委員会の開催が遅いのではないかと、評価結果が予算に間に合うのか。

事務局 2次評価までは全て終わり予算編成前に示すことができた。外部評価を実施する中で、市民目線のよりよい意見があれば取り入れていくことは可能である。

委員 54施策の中から選んでいるが、選んだものが全てバラバラだったらどうなるのか。各委員で意見は様々あるので、多数決ばかりで選ぶのもどうかと思うが。

事務局 多数決だけで全てが決まるのではなく、各委員が選んだ施策が必ず入るようバランスよく考慮して選ばせてもらう。

・外部評価委員会の議事要約の公開について

委員 外部評価の資料は。

事務局 今後、取りまとめて送付する。

委員 その評価資料についても、各課から提出された評価シートそのままではなく、何度かやり取りをして充実させてもらいたい。

事務局 評価シートを再度点検する。

委員 分かりやすい資料とはどういったものか。

事務局 評価シートだけでは分かりにくいところをフォローする資料。

事務局 質問等についても、質疑シートで事前に頂いたものはまとめて、委員の間で共有を図りたい。

委員 評価当日は意見交換を行いたいので、質問があれば事前に行いたいという趣旨か。

事務局 そのようにしたいと考えている。

委員 資料の中で詳細を知りたい場合など、聞きたいことがあれば質疑シートで対応してくれるということで良いか。

事務局 はい。

委員 都合が悪い日があるので、開催日の日程調整は行ってもらえるか。

事務局 早めに話を頂ければ調整する。

以上